超小型ブルートゥースヘッドセット 取扱説明書

最初にご確認ください

MM-BTMH17BK/SV/R

セット内容
- ●本体 ……………………1個
- ●イヤーピース(S、M、L)…各1個
- ●充電用USBケーブル … 1本
- ●取扱説明書(本書) ……1部
- ●保証書 …………………1部

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。
最新の情報は、弊社WEBサイト(http://www.sanwa.co.jp/)をご覧ください。

サンワサプライ株式会社

特長

- ●超小型のBluetoothヘッドセットです。
- ●Bluetooth対応の携帯電話やスマートフォン、パソコンでハンズフリー通話が楽しめます。
- ●高速で安定した通信を実現するBluetooth Ver.2.1+EDRに準拠しています。
- ●相手の音声が聞きやすいカナル型イヤホンです。
- ●声がクリアに届く高感度の無指向性マイクを採用しています。
- ●オートパワーオフ機能付きです。

デバイス名	MM-BTMH17
パスキー	0000(ゼロ4つ)

安全にご使用いただくために

- ●自転車やバイク、自動車などの運転中に絶対に使用しないでください。交通事故の原因になります。運転中以外にも、踏切や駅のホーム、道路、工事現場などでは使用しないでください。周囲の音が聞こえなくなると、大変危険です。
- ●歩行中に使用する場合は、周囲の交通に十分注意してください。交通事故の原因になります。
- ●使用する前に音量を最小にしてください。突然大きな音がすると、聴力を損なう恐れがあります。
- ●耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪影響を与えることがあります。耳を守るため、音量を上げすぎないようご注意ください。
- ●内部に燃えやすいものや水などの液体がかかった場合は、使用を中止し、お買い上げいただいた販売店または弊社にご相談ください。そのままでご使用になりますと、火災や故障および感電事故の原因になります。
- ●内部を開けますと、故障や感電事故の原因になります。内部には絶対に触れないでください。また、内部を改造した場合の性能劣化については保証いたしません。
- ●本製品を使用中に気分が悪くなった場合は、すぐに使用を中止してください。
- ●ペースメーカーなどの医療機器を使用している方は、医師に相談の上で使用してください。
- ●小さいお子様には使用させないでください。

ご注意

- ●本製品を使用したことによって生じた動作障害やデータ損失などの損害については、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ●本製品はBluetooth対応のすべての機器との接続動作を保証したものではありません。
- ●本製品は一般的な職場やご家庭での使用を目的としています。本書に記載されている以外でのご使用にて損害が発生した場合には、弊社は一切の責任を負いません。
- ●医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステム、高い安全性や信頼性が求められる環境下では使用しないでください。
- ●高い安全性や信頼性が要求される機器や電算機システムなどと直接的または間接的に関わるシステムでは使用しないでください。
- ●飛行機の通信システムを妨害する恐れがありますので、飛行機で本製品を使用しないでください。
- ●必要以上に長時間の充電はしないでください。
- ●電池(内蔵型リチウムポリマーバッテリー)は使用状況によって異なりますが、約300〜400回繰り返し充電できます。十分に充電した電池で使用時間が著しく短くなってきたりご使用いただけない場合、または十分な充電時間を過ぎても充電が完了しない場合は電池の寿命です。弊社では電池の交換を行っておりませんので、新しい製品をお買い求めください。
- ●電池(内蔵型リチウムポリマーバッテリー)は消耗品ですので、保証の対象にはなりません。
- ●充電が終わったら必ずケーブルを取り外してください。また、十分な充電時間を過ぎても充電が完了しない場合は充電を終えてください。所定の充電時間を超えて充電した場合、電池が発熱・発火する危険性があります。
- ●本製品を使用中に発生したデータの消失、機器の故障などの保証はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

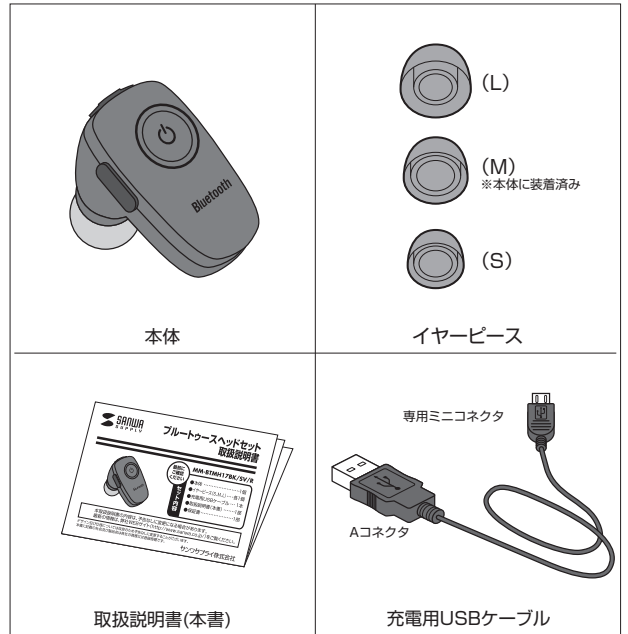
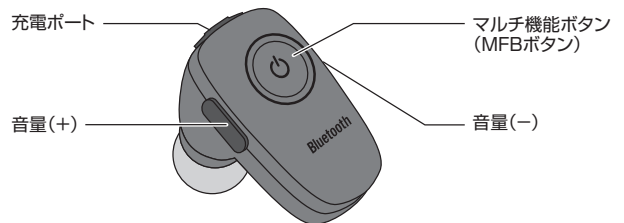
■ Bluetoothについて

- ●本製品の使用周波数帯では、産業・科学・医療用機器等のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が運用されています。
- ●本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運営されてないことを確認してください。
- ●万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、使用場所を変えるか、速やかに電波の発射を停止してください。

■ 良好な通信を行うために

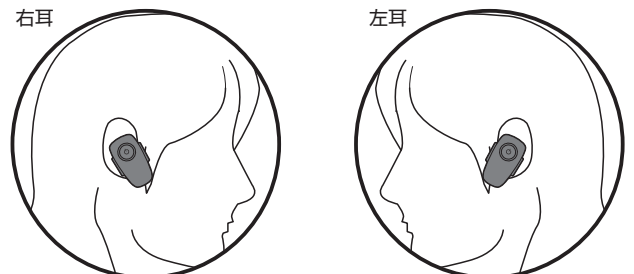
- ●他の機器と見通しの良い場所で通信してください。建物の構造や障害物によっては、通信距離が短くなります。特に鉄筋コンクリートや人間の身体(接触した状態)などを挟むと、雑音が入ったり通信不能な場合があります。
- ●Bluetooth対応のヘッドホン・ヘッドセット・スピーカーなどの音楽・音声機器とマウス・キーボードなどを同時に接続し使用した場合、音楽や音声が途切れることがあります。
- ●Bluetooth接続においては、無線LANその他の無線機器の周囲、電子レンジなど電波を発する機器の周囲、障害物の多い場所、その他電波状態の悪い環境で使用しないでください。接続が頻繁に途切れたり、通信速度が極端に低下したり、エラーが発生する可能性があります。
- ●IEEE802.11g/bの無線LAN機器と本製品などのBluetooth機器は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、近くで使用すると互いに電波障害を発生し、通信速度が低下したり接続不能になる場合があります。この場合は、使用しない機器の電源を切ってください。
- ●無線機や放送局の近くで正常に通信できない場合は、使用場所を変更してください。

1.お使いになる前に

■セット内容

■各部の名称

■装着方法

耳に差し込むように装着してください。
※右耳、左耳どちらにも装着できます。

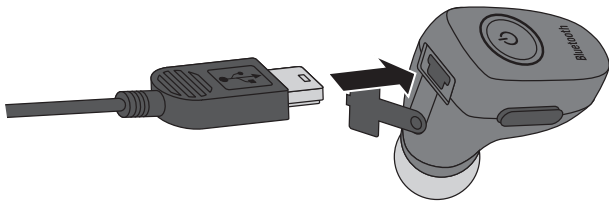
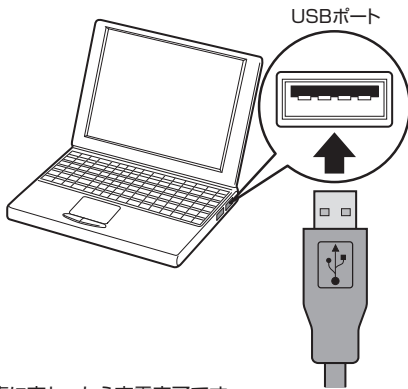
右耳

左耳

2.充電方法について

充電の際のご注意　ー必ずお読みくださいー

・充電には付属のケーブル以外を使用しないでください。
・初めて本製品をご使用になる場合は、完全に充電を行ってください。
・バスパワータイプのUSBハブを使用した場合、正常に充電されないことがあります。必ずパソコン本体のUSBポートかセルフパワータイプのUSBハブをご使用ください。

■充電する

1.本体の電源を切ります。(項目3参照)
2.充電用USBケーブルを本体の充電ポートに接続します。

3.充電用USBケーブルをパソコンのUSBポートに接続します。
　接続するとLEDが赤く点灯します。

4.LEDが青に変わったら充電完了です。

■充電の時期

LEDが赤く点滅し、ヘッドホンからビープ音が鳴り始めたら、上記の方法で充電してください。

3.基本操作について

マルチ機能ボタン(MFB)を押す時間によって機能が変わります。

■電源オン

MFBボタンを約5秒長押しすると、電源が入ります(青LEDが点滅)。

■ペアリング

MFBボタンを約7秒長押しすると、ペアリングモードになります(青/赤のLEDが交互に点滅)。途中青LEDが点滅しますが、青/赤のLEDが交互に点滅するまで放さず押したままにしてください。

⚠ **注意**　スタンバイモードからペアリングモードに切替えはできません。
一度電源を切って、長押しするとペアリングモードになります。

■電源オフ

MFBボタンを約3秒長押しすると、LEDが赤く点滅し、電源が切れます。

■オートパワーオフ機能

携帯電話の電源を切ったり接続を切断した場合、約10分後に自動的に電源が切れます。

4.LEDの状態について

	LEDの状態
ペアリングモード	青LED/赤LEDが交互に点滅
スタンバイモード	青LEDが3秒毎に点滅
通話中	青LEDが2秒毎に点滅(点灯→ゆっくり消灯の繰り返し)
バッテリー残量少	赤LEDが点滅
充電中	赤LEDが点灯
満充電	青LEDが点灯

5.Bluetooth対応の携帯電話で通話する!!

①ヘッドセットのMFBボタンを約7秒長押しし、ペアリングモード(青/赤のLEDが交互に点滅)にします。

②ご使用の携帯電話の取扱説明書をご参照のうえペアリング作業を行い、登録/接続を完了してください。

※必ず「ハンズフリー」で接続してください。

③携帯電話に着信があると、ヘッドセットから呼出音が鳴ります。

※携帯電話からも着信音を鳴らしたい場合はお使いの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

機能、操作	方法
電話をかける	携帯電話で通常通りに発信する。 ▶携帯電話の機種によっては、通話開始後にヘッドセットへの切替え操作が必要です(下記参照)。 ※機種により自動的に切替わるものや自動的に切替わるように設定できるものがあります。 ※携帯電話からの操作・設定については、お使いの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
電話に出る	着信中、MFBボタンを押す。
電話を切る	通話中、MFBボタンを押す。
着信を拒否する	着信中、MFBボタンを長押しし、ビープ音が鳴ったらはなす。
リダイヤル	音量(+)ボタンを長押しする。
ボリューム調節	本体の音量(+)、(−)ボタンを押す。1回1回押すごとに、音量が大きく/小さくなります。 ビープ音が鳴ったときは、音量が最大/最小です。
マイク消音	通話中、音量(+)、(−)ボタンを短く同時に押す。再度解除されます。

※機種により、上記の一部の機能を使えない場合もあります。

携帯電話 ⟷ ヘッドセット 通話切替え方法(通話中携帯電話側から)

docomo …………通話中に、「受話器上げボタン」を1秒以上押す。(P-01A取説より)

SoftBank ………「メールボタン」(通話中メニューボタン)→「音声切替え」選択→「本体/Bluetooth」選択(934SH取説より)

※常にヘッドセットで通話する場合、あらかじめ「メニュー」→「設定」→「外部接続」→「Bluetooth」→「マイデバイス設定」より「常にハンズフリー通話」をONにしてください。

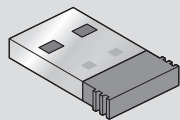
au ……………………通話中に「Ez」ボタンを押すと、本体とヘッドセットの切替えが出来ます。(CA004取説より)

(例)NTT docomo P-01Aで使用する場合

①ヘッドセットをペアリングモード(青/赤のLEDが交互に点滅)にします。
②P-01Aの「メニュー」ボタンを一回押します。
③「Life kit」を選択します。
④「Bluetooth」を選択します。
⑤「登録機器リスト」を選択します。
⑥「サーチ」を選択します。
⑦「MM-BTMH17」を選択します。
⑧「YES」を選択します。
⑨P-01Aの暗証番号(初期設定は「0000」)を入力します。※求められない場合もあります。
⑩「確定」を押します。
⑪Bluetoothのパスキー「0000」を入力します。
⑫「確定」を押します。
　以上でペアリングは完了(LEDが青に点滅)です。
⑬「ハンズフリー」を選択し、「接続」を押します。

以上で「ハンズフリー(HFP)」の接続が完了です。

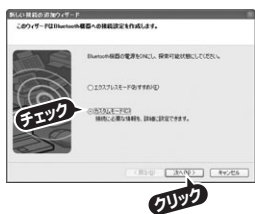
6.Bluetooth対応のパソコンで通話やチャットを楽しむ!!

弊社Bluetooth対応のアダプタ(弊社製**MM-BTUD22/23**)をご使用の場合の接続方法です。他のアダプタをご使用の場合はそれぞれの取扱説明書を参照してください。

①タスクトレイのBluetoothアイコン を右クリックし、「Bluetooth設定」を選択します。

※Buletooth機器を初めて登録する場合は、③に進んでください。

②画面上の「新しい接続」をクリックします。

③**MM-BTMH17**のマルチ機能ボタン(MFB)をLEDが青/赤交互に点滅するまで長押し(約7秒間)し、探索可能な状態にします。

「カスタムモード」にチェックを入れ、「次へ」をクリックします。

④機器が検出されたら、「次へ」をクリックします。

⑤「対象デバイスを認証しますか?」で「はい」をクリックします。

A.ハンズフリーのヘッドセットとして使用する

※Skypeのみの対応となります。
※ヘッドセットの着信ボタンでSkypeの着信を受けることができます。
※設定前にSkypeを起動してください。
※通常のヘッドセットとして使用する場合は⑪に進んでください。

⑥「ハンズフリー」を選択して「次へ」をクリックします。

⑦「VoIPアプリケーションと連携して使用する」にチェックを入れ、「次へ」をクリックします。

⑧「次へ」をクリックします。
⑨「完了」をクリックし、登録完了です。

Bluetooth対応のパソコンで通話やチャットを楽しむ!!…つづき

⑩設定画面に**MM-BTMH17**(ハンズフリー)が登録され、自動的に接続されました。

Skypeとの連携が正常に行われると、右下のタスクトレイに のアイコンが表示されます。

注)Bluetooth設定の画面上で接続になっていても右下のタスクトレイのアイコンが や の時はSkypeと連携できていません。その場合は下記の操作を行ってください。

(i)Bluetooth設定の画面から接続を切断した後、タスクトレイのアイコンを右クリックし「無効」を選びます。
(ii)再度アイコンを右クリックし「有効」を選んでください。

※(i)(ii)の操作でも のアイコンが表示されない場合は、Skypeの「ツール」→「設定」→「詳細」→「⇄ 他のプログラムからのSkypeへのアクセスを管理」より本製品とSkypeとの連携を許可してください。
また、「ツール」→「設定」→「オーディオ設定」より使用するデバイスがBluetoothデバイスになっていることを確認してください。

※何らかの理由で のアイコンが消えた場合は、右下のタスクトレイのBluetoothアイコン を右クリックし「終了」をクリックしてBluetoothマネージャーを終了してください。再度「すべてのプログラム」→「Bluetooth」→「Bluetooth設定」で起動させると が表示されます。

B.通常のヘッドセットとして使用する

⑪ヘッドセットを選択して「次へ」をクリックします。

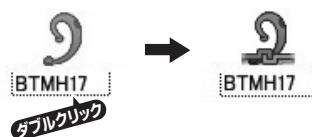
⑫**MM-BTMH17**から音が聞こえたら、マルチ機能ボタン(MFB)を押します。

⑬「次へ」をクリックします。

⑭「完了」をクリックし、登録完了です。

※②～⑭の登録作業は初回のみ必要です。

⑮設定画面にヘッドセットが登録されました。

使用する機器のアイコンをダブルクリックし、下図のようになれば使用可能です。

Bluetooth対応のパソコンで通話やチャットを楽しむ!!…つづき

※ヘッドセットなどオーディオ機器は複数台を同時に接続することはできません。
※機器により同時使用できない場合は、干渉する機器を「切断」してから目的の機器を接続してください。
※名前やアイコンを変更するには、アイコンを右クリックして各項目を選んでください。

7. 切断するには

アイコンを右クリックし、「切断」を選択します。

8. 各機器との接続について

一度ペアリングすると、機器の電源をオフにしても設定が残ります。
再度電源をオンにすると、最後に接続されていた機器と自動的に接続され使用できます。
使用できない場合は、接続または再度ペアリングを行ってください。

9. よくある質問

Q. ヘッドホンの音が聞こえません。また、音声入力ができません。(パソコンの場合)
A. 1「スタート」→「コントロールパネル」→「サウンドとオーディオデバイス」を開きます。
2「オーディオ」タブを選択し、「音の再生」「録音」のデバイスがBluetoothデバイスになっていることを確認してください。
3「音声」タブを選択し、「音の再生」「録音」のデバイスがBluetoothデバイスになっていることを確認してください。

Q. ヘッドセットとデバイスの通信距離は?
A. 10mまでです。間にコンクリート壁などの障害物があると、通信距離は短くなります。

Q. 他のBluetooth使用者によって通信内容を傍受されますか?
A. いいえ。ペアリングによって通信が保護されます。

Q. 使うたびにペアリング作業をする必要がありますか?
A. いいえ。基本的には初回だけです。電源を切っても、ペアリングの設定は残りますが、機器によっては再度ペアリングを行ってください。

Q. 電話とヘッドセットの接続が途切れたら、再接続する必要がありますか?
A. 電話の機種によって異なります。自動的に再接続する機種と、そうでない機種があります。

Q. ヘッドセットからノイズが聞こえる。
A. 通信範囲を超えたり、壁や人間の身体(接触した状態)などを挟むとノイズが入ります。

ノイズや音の途切れについて

携帯電話をポケットに入れて通話をする際、ノイズが入る・音が途切れることがあります。
無線LANや街中の電波干渉などにより起こる場合があります。また、携帯電話を入れているポケットとは反対側の耳にヘッドセットをつけている場合にも起こる場合があります。
Bluetoothが採用している2.4GHz帯の周波数帯域の電波は、水分に吸収されやすいため、人体など水分を含む物が間に入ると、届く電波が弱くなり通話品質が劣化するためです。

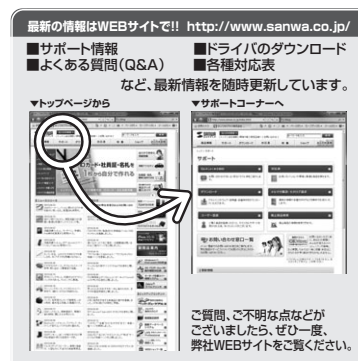
仕様

項目	内容
適合規格	Bluetooth Ver2.1+EDR準拠
周波数範囲	2.4〜2.480GHz
伝送方式	FHSS
通信距離	約10m (環境によって異なります)※
送信出力	Class2
電源	内蔵型リチウムポリマーバッテリー 充電時間:約1.5時間 連続通話時間:最大約4時間 連続待受時間:最大約60時間
サイズ・重量	W16×D29×H29mm・7g
対応プロファイル	HSP (ヘッドセット)、HFP (ハンズフリー)
対応機種	Bluetooth対応のパソコン(※1)・携帯電話(※2) ※1 HSP (ヘッドセットプロファイル)または HFP (ハンズフリープロファイル)に対応していること。 ※1 パソコンがBluetoothに対応していない場合、Bluetooth USBアダプタをお使いください。 ※2 Bluetooth対応携帯電話

※実際の通信距離や使用時間は使用環境などによって異なります。

保証規定

1.保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。
万一保証期間内で故障がありました場合は、弊社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書を製品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。
2.次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
(1)保証書をご提示いただけない場合。
(2)所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
(3)故障の原因が取扱い上の不注意による場合。
(4)故障の原因がお客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
(5)天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷。
3.お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
4.本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
5.本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての保証はいたしかねます。
6.本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。
7.修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。
8.保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
9.保証書は日本国内においてのみ有効です。

保証期間 6ヶ月

サンワサプライ株式会社
2010.06現在

岡山サプライセンター / 〒700-0825 岡山県岡山市北区田町1-10-1 TEL.086-223-3311 FAX.086-223-5123
東京サプライセンター / 〒140-8566 東京都品川区南大井6-5-8 TEL.03-5763-0011 FAX.03-5763-0033
札幌営業所/〒060-0807 札幌市北区北7条西5丁目ストークマンション札幌 TEL.011-611-3450 FAX.011-716-8990
仙台営業所/〒983-0851 仙台市宮城野区榴岡1-6-37宝栄仙台ビル TEL.022-257-4638 FAX.022-257-4633
名古屋営業所/〒453-0015 名古屋市中村区椿町16-7カジヤマビル TEL.052-453-2031 FAX.052-453-2033
大阪営業所/〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-1-45新大阪八千代ビル TEL.06-6395-5310 FAX.06-6395-5315
福岡営業所/〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街8-20第2博多相互ビル TEL.092-471-6721 FAX.092-471-8078

10/06/MTDaNo